

# 「全てが必然」



2017. 7. 10

No. 3

校長 川上慎治

## 「仕事の流儀」 in 早島中

7月6日、2年生がキャリア教育の一環で、働くことの意義について学び、将来の進路選択の参考とする「特別授業」が地元の商工会青年部の皆様の協力により実施されました。



造園業、学習塾、写真館、製造業、IT関連、美容等、職種は様々です。生徒たち全てが、希望職種の講座を受講したわけではありませんが、どの職種であっても、働くことの意義・やりがいを感じ取ってくれたように思います。特別授業を行ってくれた講師の方々は、他の学校でもいくらか授業を行っていたようですが、口々に「早島中での授業はやり易かった。」と言っていました。生徒たちは、仕事で使う道具に実際に触れたり、カんながけや髪をカットする場面を目の当たりにし、目を輝かせていました。説明や実演の後の質問コーナーでは、生徒が「もう一流になったと思いますか。」と問いかけると、「そんなことは思ったことがない。お客さんに喜んでもらえるよう今でも必死に頑張っている。」と講師の方が熱く語られたシーンがとても印象的で、生徒の心にも響くものがあったように思いました。そういえば、現役メジャーリーガーのイチローさんも「満足してしまえば、成長はない。」とインタビューで同じようなことを言っており、現状に満足せず、常に向上心を持つことの大切さを教えていただいたように思います。

また、別の講師の方からは「イケメン美容師で、ある程度カットできても、無口だとお客はつかない。お客さんと会話ができれば、この仕事は難しい。」と話されていました。

コミュニケーション能力は、どのような仕事でも求められる力だと思います。講師の方々の話は、聞けば聞くほど、「なるほど」と思える話ばかりで、将来について考える授業でしたが、今の学校生活でも、すぐに使える大事なことを教えていただいたように思います。



最後に、生徒たちは、「働く」ってどんなことだと捉えたのでしょうか？

色々あると思いますが、よく「働く（はたらく）」は、「傍（はた）を楽（らく）にする」と言われます。「傍（はた）」というのは、「周りの人」という意味です。つまり周りの人を楽にしてあげるってことです。そんな風に捉えると、「働く」って大変なのだろうけど、なんだか人を幸せにするやりがいのあることのように感じられます。

2学期に、2年生は様々な職場に出かけて行き、実際に働く経験をします。失敗をして悩む場面もあるかもしれませんが。そんな時、保護者の方々には優しく見守っていただき、温かい言葉をかけていただけたらと思います。きっと貴重な経験をしてくると思いますので、よろしく願いいたします。